PRESS　RELEASE

令和８年２月 25 日
取手市政策推進部文化芸術課

令和７年度取手市長賞　美術分野の受賞作品が決定！

～東京藝術大学卒業・修了作品展の出展作品から２点を選定～

第 34 回取手市長賞美術分野の受賞作品を、第 74 回東京藝術大学卒業・修了作品展に出展された作品のうち東京藝術大学から推薦があった優秀作品 11 点から２点選定しました。

取手市長賞（美術分野）は、平成３年 10 月に東京藝術大学の取手キャンパスが開設されたことを機に、平成４年度に東京藝術大学との交流事業の一環として創設されました。東京藝術大学卒業・修了作品展の優秀作品の中から毎年２点に取手市長賞を授与しています。

令和７年度は東京藝術大学から絵画４点、工芸７点、計 11 点の推薦がありました。取手市長が東京藝術大学卒業・修了作品展にて推薦作品全点を鑑賞し、下記の２点を選定しました。

■第 34 回取手市長賞（美術分野）受賞作品

・油画

作品名　　又路（さろ）

作者　　川村（かわむら）　照乃（てるの）

東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻油画技法材料研究分野

・工芸（彫金）

作品名　　野に咲く

作者　　高原（たかはら）　彩夏（あやか）

東京藝術大学美術学部工芸科彫金専攻

■令和７年度取手市長賞受賞作品公開日程

取手市長賞作品展

日程：令和８年５月１日（金）～5 月 12 日（火）

午前 10 時～午後６時

会場：とりでアートギャラリー　ギャラリー1（アトレ取手４階）

■取手市長賞（音楽分野）について

受賞者が決定次第、別途お知らせします。(3 月上旬を予定)

問い合わせ先	取手市　　政策推進部　文化芸術課　文化芸術振興係 担当者：落合（内線　1292） E-mail：art@city.toride.ibaraki.jp

令和７年度　第34回取手市長賞（美術分野）作品（受賞者）ついて

・油画

作 品 名　　叉路（さろ）

寸　　法　　H162×W130.3（cm）

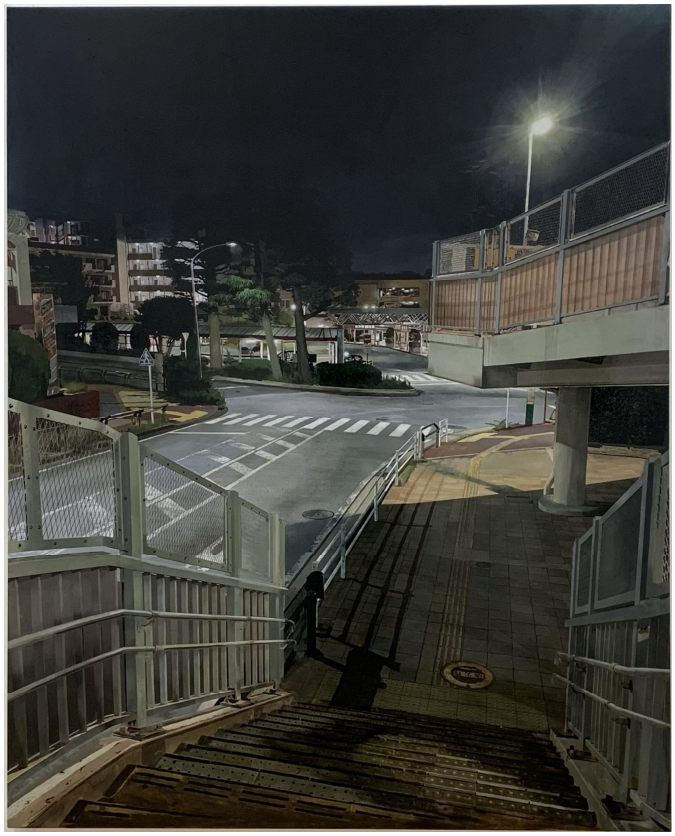
材　　質　　パネルにテンペラ、油彩

作　　者　　川村（かわむら）　照乃（てるの）

東京藝術大学大学院美術研究科

絵画専攻油画技法材料研究分野

2000年4月14日生



作者コメント

屋外を歩いていると、綺麗なものがたくさんある。特別に構成せずとも身近な景色が十分なモチーフになると感じるようになった。日頃から意識して景色を眺めると季節は想像以上の速さで移ろい、草木や空の表情はわずかな時間でも変化する。とりわけ私の心を奪ったのが、夜の景色に漂う湿度や人工光が空間に滲む感覚である。光の種類は時代とともに変わり、現代の夜はまるで昼の延長のように明るい。やがて夜が夜ではなくなっていくかもしれない...そんな予感を抱きながら近所を歩く時間が、私にとって制作と思考の重要な起点となっている。

東京芸術大学推薦理由

本作品群は夜景をテーマとする絵画で、テンペラと油彩の混合技法で描かれている。川村さんは一貫して見慣れた風景を切り取ってきた。「昼の光は普遍性を持つのだが、夜の光は時代・文化的背景を色濃く反映する」という主題を掲げる。単なる概念上の主題を凌駕し、はりつめた夜気や無人空間に立ち上がる物の気配を、絶妙に絵画に定着している。画布に定着されている緊迫感のある時間は「いつかの過去」「いつもの状態」でもなく「まさに今」だ。スタイルを基に作る絵ではなく、一枚一枚を真摯に描き上げる絵であり、その邪念のないまっすぐな姿勢も含め、高く評価された。

令和７年度　第34回取手市長賞（美術分野）作品（受賞者）ついて

・工芸（彫金）

作 品 名　　野に咲く

寸　　法　　H78×W34×D23（cm）

材　　質　　銅・真鍮・銀

作　　者　　高原（たかはら）　彩夏（あやか）

東京藝術大学美術学部工芸科彫金専攻

1999年８月26日生

作者コメント

この作品は、日本の固有種であるヤマドリをモチーフに制作しています。体はヤマドリが生息する野山の植物で作られています。希少な生物を思い、彼らが生息する自然環境にも目を向けてほしいと願いを込めて制作しました。

体を構成する植物は、頭部から順に野苺、菊、金蘭です。野苺は果実がヤマドリの餌となる植物です。食物として体に取り入れられ、成長していくことを表現しています。菊は、一年中葉をつける多年草であることから、生命力を象徴しています。金蘭は、太陽に向かっていくつもの鮮やかな花を咲かせ未来へと発展していくことを象徴しています。

東京芸術大学推薦理由

本作品は希少な生物が生息する自然環境への思い、またそれに対し目を向けてけて欲しい願いを込めた作品であります。日本の固有種である「ヤマドリ」をモチーフに様々な植物の集合体になっております。その植物には様々な思いを込めた4種の植物から構成されています。食物を取り成長を意味する「野苺」、生命力を表す多年草の「菊」、太陽に向かって成長し、発展を象徴的に表した「金蘭」、不透明な昨今の社会情勢を憂い、少しでも希望をもたらす思いが感じられる優秀な作品であります。